

検討協議会委員意見（R5.11.30まで）

1 推進計画コンセプトについて

⇒左記の意見に対する各委員のご意見

⇒左記の意見に対する各委員のご意見

⇒事務局からの参考情報

番号	委員名	意見	⇒	委員名	意見	委員名	意見	参考（事務局意見）
1	向井大輔	現状では、学校の教職員の方に対する負担が大きくなっており、部活動地域移行はとても重要だと思います。	⇒					
2	向井大輔	既存の部活動に対する概念を忘れて、新たに活動の場を構築していく必要があると思います。	⇒	高橋郁典	同感です。学校には種目数を増やすキャパシティはありません。オリンピックの種目数に現れているように、意識から変えていく必要があると思います。			
3	向井大輔	保護者に対する説明や理解を求める事が重要だと思います。	⇒	谷口幸隆	丁寧な説明が必要だと思います。学校からの説明が保護者の理解も得やすいのではと考えます。			市HP・広報等で随時協議会の進捗状況を公開してまいります。また協議が進みましたらPTA、学校運営協議会等でご案内できるよう準備してまいります。
4	高橋郁典	「地域の子どもは地域で育てる」で良いのではないかと思います。学校も地域の一部という理念ではないでしょうか。	⇒	谷口幸隆	学校の協力も不可欠で、施設利用や生徒、保護者への説明は学校を通じて行うのが良いと思います。市、学校、運営母体の三位一体でベクトル合わせが必要不可欠と考えます。			
5	高橋郁典	生徒の多様なニーズにこたえるために運営母体を充実させる（増やす）ことは、必要だと思いますが、東温市ですべてをまかなうイメージは持ちづらいです。周辺市町村との連携の下で、上手に棲み分けることが必要になるような気がします。	⇒	谷口幸隆	一気に全ては難しいと思うので、出来ることから一つずつニーズに応じていけるようにする必要はあると思います。その上で周辺市町村と連携する種目も出てくると思うので、そのあたりの調整も運営母体の仕事かと思っています。それぞれの種目で運営母体を持つというよりは総合型クラブの組織の中に既存の種目の団体に入ってもらう形態が良いと考えます。			
6	高橋郁典	コンセプト案の最後にありますが、家庭の負担増が一番心配です。現状でも、そこがネックになって入部を断念するケースを何度か見てきました。現在、中体連関係の大会については、学校で活動している生徒に限ってその登録費、参加費、移動費等をほとんど市の補助金で賄っています。そこは今後どうなっていくのか…	⇒	谷口幸隆	無償ボランティアありきのこれまでのスポーツ活動の限界が来ているのだと思います。誰かが負担してきただけの事かと。受益者負担の理解を得ることもスポーツ文化の発展には必要でそのきっかけになれば良いと思います。ただ、理解も得にくいのも事実なので何らかの補助金はある方が良いでしょう。		就学援助家庭に対する支援は検討する必要がありますが、クラブへの参加は原則受益者負担と考えています。	
7	高橋郁典	休日の練習場所として、一番に学校施設が考えられます。その際に、責任をすべて外部に預けることができるのか心配です。（よくわからないのですが、現状は、誰か教員が対応しているように見えます）	⇒	谷口幸隆	個別の問題はやっていく上で少なからず出ると思います。それを一つ一つ経験して改善していくことが重要かと。当然、学校の協力は不可欠ですが、教員の負担にならない最善を探る必要はあると思います。		東温市立学校体育施設の開放に関する規則に基づき対応します。中期的にクラブと部活が混在することが想定されるので、事故等があった際には協議となります。	
8	渡部康彦	学校、先生方が部活動をどう運営していきたいのかが知りたい。①楽しみを主とした部活動、②技能習得を目的とした部活動運営の方針をしっかりと決めなければ、生徒たちは、部活動に目的を持たず、決められた事だけをする、又、やられている部活動になってしまわないだろうか？学校、先生方の考えをしっかりともらわないと、単なる部活動の地域移行になり、指導者も限られた人間のみの活動になってしまうと思う。	⇒					「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(平成30年3月スポーツ庁)」及び「愛媛県の運動部活動の在り方に関する方針(平成30年6月愛媛県教育委員会)」等を踏まえた市方針に基づき、市立中学校出では以下の点を重視して実施しています。 ・生徒がスポーツ・文化芸術活動を楽しむことで、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフ、文化芸術活動を実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにする。 ・生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的かつ効率的・効果的に取り組む。 今般策定する推進計画がまとまりましたら、計画を盛り込む形で本市方針の改訂を行う予定としています。 委員の意見でもあったように「部活動は人づくりに重点を置く」、「技術向上ができる場を別に提供できるよう地域団体と協力してクラブ化を進める」ことを盛り込む予定です。
9	川上齊睦	このコンセプト案で方向性はよいと感じます。	⇒					
10	川上齊睦	コンセプトに従い、まずは地域移行ができる活動から進めてみて、発生する問題点等を解決し、他に拡大すればいいと思います。	⇒					

2 部活動地域移行全体に係る提案など

番号	委員名	意見	⇒	委員名	委員	委員名	委員	参考（事務局意見）
1	渡部康彦	すべての部活動を同時に移行するのは難しいと思う。指導者運営方針が決まった部活動より順次移行する方法はどうか？	⇒	谷口幸隆	賛成です。指導者、場所が決まった、あるいは決まりそうな種目から協議し、先行的に開始してモデルケースを構築するのがよいと思います。（サッカー、男子バスケット、女子バレーボールはすでに出来る可能性があります。）、この他にも出来そうな種目があれば情報を頂いて共有したいと考えます。			県方針に沿って、本市でも「できることから」移行する予定です。ただし、コンセプト案で示したとおり、推進期間中の部活動は平日のみ（休日の活動は、地域移行にて実施する）とし、推進期間後は速やかな全部活動の移行（学校部活動の廃止）へ取り組むことが望ましいと考えます。
2	渡部康彦	指導者についてもよく選定検討しないと勝利主義イコール部員間のトラブル（いじめ等）が発生してしまうと思う。	⇒	谷口幸隆	指導者の資質は精査する必要があると思います。何らかの資格は必要だと考えます。ただ、これは地域移行に関係なく、子供たちを預かる以上、部活であろうとクラブであろうと同じです。ボランティアであつてもそうでなくても、教員、外部指導者も等しく必要。	高橋郁典	市として、そのための研修を用意する必要があるかもしれません。	
3	向井大輔	子供達が責任感を持ち、積極的に活動する場の構築が必要だと思います。	⇒	谷口幸隆	積極的に参加したいと思える場所の提供が今回の地域移行の最大の意義だと思います。目指す方向性や、関わる濃淡を生徒自身が選べるのが大切だと思います。			
4	向井大輔	現在は、学校の教職員の方が顧問をして頂いているという事もあり、子供達にとっては安心感もあると思います。	⇒					
5	向井大輔	専門的な指導者により指導を受ける事が出来る場がある事で、子供達のレベルアップにもつながると思います。	⇒					
6	高橋郁典	東温市には、中学校が2校しかないので個人的には「拠点校方式」があつているのではないかと思います。もちろん、その他の計画を否定するものではありません。まずそれぞれの学校の部活の数を減らすことは必要になってくると思うからです。構造が変化しないと教員の負担は変わらないように思います。その上で、平日の活動のみで、教員で完結できる部活動は充実させていくことが可能ではないかと思っています。（川内中のV&Cのような部活動は、そういう可能性があるとあります。）	⇒	谷口幸隆	平日の活動のみで、教員で完結できる部活動は充実させていくことが可能ではないかと思っています。→賛成です。 まず、平日、教員で活動出来る部活、教員で活動したい部活があれば継続する方向で進めたいと思います。その上で、状況をその都度把握し（小学6年生に対するアンケート、教員の異動等）で運営母体となるクラブと学校で調整していく方向が良いかと思っています。最終決定権が学校にあるのかクラブにあるのかの問題はありますが。			

3 その他全体的なご意見

番号	委員名	意見	⇒	委員名	委員	委員名	委員	参考（事務局意見）
1	渡部康彦	今後さらなる少子化で部活動単独チームの編成ができなくなる事が多くなると思う。地域で統一したクラブチーム化も必要ではないだろうか？	⇒	高橋郁典	生徒の活動を市の枠に収めようとするのは、現実的でないような気がします。周辺市町村も含めてうまくバランスがとれるといいなと思います。			
2	高橋郁典	運動部活動に限って考えれば、地域移行と中体連の動向は少なからず影響してきます。現段階では、来年度から中体連の大会（総体・新人）において、クラブチームは各地区からの予選参加になり、県中体連に申請すればどの地区からでも参加できるようになります。「一度その地区から参加すれば、その団体が存続する限り、所属している生徒の所属校に関係なくその地区から参加していただく。」というのが現在の県事務局の考えです。東温市は、どんな種目の申請があつても受け入れられるのかどうか…現状では、受け入れなければならない状況です。市として、どんなチームが申請してきても受け入れられるのか、それなりの線を引くことができるのか心配です。（前回の中体連理事会に代理で出たときの情報です。過去に聞かれているとは思いますが、何か要望等がありましたら、重信中の高江理事長にお伝えください。）	⇒	谷口幸隆	運営母体、あるいはクラブチームの所在地での出場に限定すれば良いのではないのでしょうか。（決定権がどこにあるのか分かりませんが。）勝利至上で出場地域を選ぶようなことはルールというよりモラルの問題の気もしますが。			
3	川上斉陸	(1)運営母体の設立について ①現時点で地域活動を行っている団体がある種目等については、比較的問題なく移行できると思います。	⇒					
4	川上斉陸	(1)運営母体の設立について ②地域に活動実績がない種目（例えば吹奏楽部、女子ソフトボール、陸上競技等）については、運営母体を立ち上げたとしても、実質は部活動顧問（現職教員）が担当することになります。活動は一つとは言え、部活動と運営母体と両方の世話をすることになり、事務的な手間の増加は避けられず、教員の抵抗感は大いではないでしょうか。	⇒	谷口幸隆	地域に活動実績が無い種目、また、これまで部活自体無かった種目も含めてゼロベースで運営母体が一つずつクリアしていくべきかと思えます。当然、学校とは連絡を取り合い教員の負担にならないようにスムーズに移行していくことが運営母体の役割だと思います。			
5	川上斉陸	(1)運営母体の設立について ③教員の異動に伴い、運営母体を誰が引き継ぐかの懸念もあります。	⇒	谷口幸隆	運営母体は教員ではなく地域クラブが行うので問題は無いかと思えます。			国ガイドラインでは「総合型地域スポーツクラブ」等が運営母体として示されています。
6	川上斉陸	(2)運営母体の活動に係る費用について ①現在の部活動制であれば、保護者の負担は少ないのですが、運営母体での活動になると、各家庭の負担という案であり、活動しようとする生徒の減少が心配されます。どこまで公費で負担できるかが大事なポイントになると思います。	⇒	谷口幸隆	受益者負担は必要だと考えますが、理解が得にくいのも事実。段階的に負担をして頂けるように何らかの補助は必要かと思えます。生徒はやりたくても保護者の意向で参加できない事例が多くなるのは避けたいと考えます。			就学援助家庭に対する支援は検討する必要がありますが、クラブへの参加は原則受益者負担と考えています。
7	川上斉陸	(2)運営母体の活動に係る費用について ②①に併せて、現在、部活動の公式戦である中体連主催の総体や新人大会への出場に発生する諸費用を、運営母体で出場する場合、誰が負担するかも気になります。運営母体設立時までに、よく検討したいと考えます。	⇒	高橋郁典	現在、中体連会費は、各学校の生徒数で納めています。現状、東温市は、市で負担していただいています。……地域移行でクラブから参加する生徒が増えても東温市の生徒ということでも今までどおり負担いただけるのでしょうか？（県大会以上の参加費も受益者負担になっていますが、それも補助金から支出していただいています。）			